

れんごう中越地協

第1062号2021.1.21
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



21年度連合中越地協第1回幹事会

新メンバーで当面の諸課題協議

21年度連合中越地協第1回幹事会が、12月16日(水)午後6時30分から地協事務所で開かれた。矢島議長は年次総会後初の幹事会にあたり「総会から一カ月が経過した。幹事会は新メンバーでの構成となっ

た。例年は、新旧役員引継ぎ会を兼ねていたがコロナ禍で幹事会のみとした。世の中は書入れ時のはずだが、経済活動は滞っている。国政は困窮対策ができていないか疑問だ。リーダーとして責務を果たさなければならない。我々は、

びに世界平和を語る集いに18人参加した。S J ネット委員会関係は、第15回総会や地協年次総会での「じゃがいも」販売とフードバンクにいがた長岡センターや子ども食堂へのじゃがいも寄付等を報告。各支部関係では、各支部総会等が報告された。

新年を迎え、今年はおめでたい。抱負を考へるのだが、なかなか前向きに明るい希望を考へられない自分がいた。それは、新型コロナウイルスの罹患者が過去最高の数値になりまして連日の報道を見ているからである。自分自身も何だが、明るく元気が取柄の自分だが、目の前の閉塞感やいつも通りの活動ができないことへのストレスがあるものと考えられる。これは、自分だけでなく、社会全体の閉塞感を感じている人が多くいることだろうと推察される。しかし、この

状況下においても教育現場では、感染リスクを最小限に減らすための工夫をしていく。そして、GIGAスクール構想で一人一台のタブレットが配置され、来年度4月からその情報機器を活用した授業を求められている。各校でタブレットの使い方から、管理方法、効果的な授業方法など、多岐にわたる検討や研修が進められている。世の中の急速な変化に合わせ、求められる「流行」と教育で変わらぬ「不易」を大切にして育む「不易」を大切にしていきたい。

中越地域退職者連合 介護に関して要請

中越地域退職者連合は、連合中越地域協議会とともに12月23日長岡市長、翌24日見附市長に「介護制度にかかわる要請書」を提出し、高齢者が安心して生活できる社会保障制度を求めて、両市長に実現方を要請した。

本年は、昨年の要請事項に、退職者連合本部、新潟県退職者連合の統一指針を加え、9項目の要請を行った。主要な要請項目は、第8期介護保険事業計画策定内容、介護保険事業の地域包括ケアネットワーク事業の構築、総合事業の現状、認知症対策である。

長岡市長要請は、冒頭、成田会長が月

中、①マンパワー確保と。②市民後見人制度の創設。③認知症救済策の新設。④集団健康診断など認知症早期発見のため予防策の導入の4点に絞って意見交換した。市から、①事業者など協力して介護事業の確保をめぐす。②現在実施している社会福祉協議会の法人後見人制度に「支援員」を募集し、将来の市民後見人制度の布石とした。③現在54の自治体で救済策がある。国や他市の状況を踏まえ検討する。④今年から国の指導で75歳以上の方に健康診断時に問診票に「認知症」を加えた。と回答。



予定する活動をどうやったらできるのか、三密・ソーシャルディスタンス・リモート・分散など支出が増えるも、スタイルを変えて活動していきたい。先ずは春季生活闘争だ」と述べた。自己紹介の後、事務局から次の報告事項が承認された。総務機関関係では、第30回年次総会の出席状況。組織対策関係では、全国一斉労働相談ダイヤルキャンペーン街宣。政策福祉関係では、長岡市への要望書提出と長岡地区労協役員会関係報告。教宣文化関係では、機関紙「れんごう中越地協」のコラム名を「あたご3」に変更したことを報告。国民運動関係では、フードバンクにいがた長岡センター「長岡こども笑顔プロジェクト」へのボランティア参加と、「医師・中村哲先生追悼並

確認し)(冬が好き コートで隠す 胴回り)



中、①マンパワー確保と。②市民後見人制度の創設。③認知症救済策の新設。④集団健康診断など認知症早期発見のため予防策の導入の4点に絞って意見交換した。市から、①事業者など協力して介護事業の確保をめぐす。②現在実施している社会福祉協議会の法人後見人制度に「支援員」を募集し、将来の市民後見人制度の布石とした。③現在54の自治体で救済策がある。国や他市の状況を踏まえ検討する。④今年から国の指導で75歳以上の方に健康診断時に問診票に「認知症」を加えた。と回答。

翌24日、見附市担当課長に要請。見附市の現状と課題について丁寧な説明を受け、今後、認知症などの意識が低い状況が見受けられるので周知徹底策を進めていくことなど意見交換した。(今井事務局長)

サラリーマン川柳 (ジャンボくじ 妻に隠れて

確認し)(冬が好き

コートで隠す 胴回り)

(まかせとけ

きつとだれかが やるだろう)

(ストレスの

元が君とは 言えぬ僕)

サラリーマン川柳 (どの人も ケータイばかり 見つめてる) (待合室 患者同士で 問診し) (お年玉 親に預けて 焦げ付いた) (よく切れる ハサミ・包丁 僕の妻)

2020ながおかワーク&ライフセミナー
第1部
映画「家族を想うとき」で考える
格差社会の現状と課題

新型コロナウイルス感染症の影響は社会的弱者により大きくのしかかっています。その結果は女性の自殺率の増大などに現れています。「自己責任」が強く求められる市場競争社会の中で、社会の分断や格差の固定、貧困の連鎖といった負のスパイラルは、さらに拡大しています。私たちは貧困問題に取り組みしてきましたが、社会を覆う「貧困は自己責任」という考え方を克服できません。

今回、あらためて「格差社会」の現状を確認し、安心して暮らせる社会、誰もが排除されることがなく「格差社会」や「貧困」のある社会、「助け合い、支え合い」を理念とする「連帯・協働」でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向け、セミナーを開催します。

【日時】 2021年2月27日(土) 10:00~12:00
【会場】 ホテルニューオータニ長岡 NCホール
長岡市台町2-8-35 (駐車料金は自己負担です)
【定員】 150人(先着順・感染予防のため会場定員の半数以下にしています。)

参加料 無料

映画上映 「家族を想うとき」(100分)
映画紹介:2016年カンヌ国際映画祭でパルムドールに輝き、日本でも大ヒットを記録した『わたしは、ダニエル・ブレイク』の傑作を最後に、一度は舞臺から降りたケン・ローチ監督。だが、両作のサテライトに社会の底辺で目の高たりにした(現実)が彼の心の中に生き続け、いつしか(別のテーマ)として立ち上がり、どうしても譲らなければならないという使命へと駆り立てた。引退表明を撤回した名匠が最新作で描いたのは、グローバル経済が加速している(今)、世界のあちこちで起きている(働き方問題)と、急激な時代の変化に翻弄される(現代家族の姿)だ。

活動報告 NPO法人女のスペース・ながおか
NPO法人フードバンクにいがた長岡センター
・当日会場入り口で、フードバンクによるフードドライブを行います。
・当日の午後は第2部『協同労働』〜「労働者協同組合法」で何が変わる、何ができる〜を開催します。(申込は別途必要です。)

新型コロナウイルス感染症拡大防止についてのご協力をお願い
①会場内ではマスクを着用してください。②会場内の消毒液による手指の消毒にご協力ください。
③下記に該当する場合は参加をお控えください。
・発熱や咳、のどの痛みなどがある場合。*当日、自宅及び会場入り口での検温をお願いします。
・新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の経過観察に該当されている方。
・県外在住の方。
④参加者同士の密接を避けるため、参加人数に応じて座席を指定させていただく場合があります。
*新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止する場合があります。
*中止等の連絡のため、申込時に連絡先をお伝えください。

ながおかワーク&ライフセミナー主催団体 : 長岡地区労働者福祉協議会
共催 (一財)新潟ろうきん福祉財団・(一社)新潟県労働者福祉協議会
後援 長岡市・長岡市教育委員会 運営協力 長岡アジア映画祭実行委員会!

この事業は一般財団法人新潟ろうきん福祉財団の公益支出事業を主たる財源として開催します。

お申込みお問い合わせ TEL: 0258-86-0111 (平日:9:00~17:00)
FAX: 0258-86-0884
MAIL: rengo.c@topaz.ocn.ne.jp

(事務局:連合中越地域協議会)

「わたしは、ダニエル・ブレイク」のケン・ローチ監督最新作
家族を守るはずの仕事が、家族を引き裂いてゆく——
それでも負けない気高く力強い家族の絆を描く感動作
家族を想うとき
Sorry We Missed You

2020ながおか
ワーク&ライフセミナー
2021年2月27日(土)

「今」を生きる私たちが吹き飛ばそうとする嵐に、
名匠が再び正面から立ち向かう

監督:ケン・ローチ「わたしは、ダニエル・ブレイク」ジミ、野を駆ける伝説
脚本:ポール・ラヴァティ「わたしは、ダニエル・ブレイク」ジミ、野を駆ける伝説
出演:クリス・ヒッチェン、デビー・ハニーウッド、リス・ストーン、ケイティ・プロクター
2019年/イギリス・フランス・ベルギー・英倫/100分/アメリカンビスタ/カラー/S-1ch
原題:Sorry We Missed You/日本語字幕:石田孝子
提供:パップ、ロングライド 配給:ロングライド photo:Jess Barratt, Sixteen Films 2019

2020ながおか
ワーク&ライフセミナー
2021年2月27日(土)
13:30~

地域の底から、社会をつくる

映画紹介:高度経済成長の終焉から半世紀、激変する人口減少社会、ますます広がる貧困や格差、否応なく私たちに様々な困難の転機を求めています。そんななか、2011年3月の東日本大震災—それは、被災地のみならず、いまを生きている私たちに、あらためて「これらが、どう生きていくのが、正しいのか」という問いを投げかけました。

本作は、これまで長岡にわたって、競争、効率、自己責任—ではなく、持続可能な社会への仕組みづくりを地域のひととともに実践・実践し続けてきたワーカーズコップ(協同労働の協同組合)による東日本大震災での取り組みを2ヶ月間にわたって記録したものです。

ワーカーズ
被災地に起つ

監修・原簿作:アレーター 山根孝志
http://workers2-movie.roukyou.or.jp

これは被災地、そして今のニホンを元気にする「まちづくり」の物語。

2020ながおかワーク&ライフセミナー
第2部
「協同労働」てなに?
〜「労働者協同組合法」で何が変わる、何ができる〜

12月4日、国会において「労働者協同組合法」が全会一致で成立しました。組合員が出資・運営し、自ら働く「労働者協同組合」(ワーカーズコップ)に法人格を与え、地域の課題に応じた仕事をこれまでより簡単に事業化でき、雇用創出や地域活性化につながるものと期待されています。公布から2年以内に施行されます。

この「労働者協同組合法」について、映画「ワーカーズ被災地に起つ」の上映と講演を通じて学び合う場を、ながおかワーク&ライフセミナーとして開催します。

日時 2月27日(土) 13:30~16:00
会場 ホテルニューオータニ長岡 NCホール
長岡市台町2-8-35 (駐車料金は自己負担です)
定員 150人(先着順・感染予防のため会場定員の半数以下にしています。)

参加料 無料

映画上映 「ワーカーズ被災地に起つ」(90分)
映画紹介:これまで長きにわたり、競争、効率、自己責任—ではなく、持続可能な社会への仕組みづくりを地域のひととともに模索・実践し続けてきたワーカーズコップ(協同労働の協同組合)による東北被災地での取り組みを2ヶ月間にわたって記録したものです。

講演 「労働者協同組合法」成立
講師 江花和郎さん (日本労働者協同組合(ワーカーズコップ))
報告 NPO法人市民協働ネットワーク長岡
*当日会場入り口で、フードバンクによるフードドライブを行います。
*当日の午前は第1部『映画「家族を想うとき」で考える格差社会の現状と課題』を開催します。(申込は別途必要。)

新型コロナウイルス感染症拡大防止についてのご協力をお願い
①会場内ではマスクを着用してください。②会場内の消毒液による手指の消毒にご協力ください。
③下記に該当する場合は参加をお控えください。
・発熱や咳、のどの痛みなどがある場合。*当日、自宅及び会場入り口での検温をお願いします。
・新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の経過観察に該当されている方。
・県外在住の方。
④参加者同士の密接を避けるため、参加人数に応じて座席を指定させていただく場合があります。
*新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止する場合があります。
*中止等の連絡のため、申込時に連絡先をお伝えください。

主催 : 長岡地区労働者福祉協議会 後援 長岡市・長岡市教育委員会
共催 (一財)新潟ろうきん福祉財団・(一社)新潟県労働者福祉協議会
協力団体 (社)日本社会連帯機構・労働者協同組合連合会センター事業団

この事業は一般財団法人新潟ろうきん福祉財団の公益支出事業を主たる財源として開催します。

お申込み・お問い合わせ TEL: 0258-86-0111 (平日:9:00~17:00)
FAX: 0258-86-0884
MAIL: rengo.c@topaz.ocn.ne.jp

長岡地区労働者福祉協議会
事務局 連合中越地域協議会

参加案内をはがき又はメールでお送りしますので、当日会場でご提示ください。